

「教育コミュニティづくり推進事業」訪問記録 府立茨木支援学校



更新日：2013年3月27日

府立茨木支援学校を訪問しました

- ・学校と地域との交流による芋掘り体験取材しました。
- ・地域の方からお話を聞いてから作業開始、芋が掘れるたびに歓声が上がリ、さわやかな秋空の下、先ほど掘った芋をみんなで試食しました。
- ・子どもたちが作業しやすいように、ビニールシートを敷いたサツマイモ畑は、支援学校の一角にあり、小学部の児童と、介護体験の学生、学校関係者等100人ほど集まる一大イベントになっています。
- ・畑では、まるまると太ったサツマイモが掘れる度に、あちらこちらで、楽しそうな声がわきあがっていました。なかなかこのような体験ができない児童にとって、貴重な体験となっています。

活動のポイント

1. 30年続いた地域との交流



- ・地域との交流が30年も続いており、今回の芋掘り体験も15年目を迎える毎年恒例の行事となっている。
- ・障がいのある子どもたちに豊かな体験活動をさせたいという保護者、地域の方、学校関係者の思いが集まって、さまざまな取組みにつながっていった。
- ・地区福祉委員、公民館、自治会連合会の地域の方々を中心となって運営している。

2. 「豊かな体験活動をさせたい」という思いから始まった



- ・茨木支援学校では、障がいのある子どもたちに豊かな体験活動をさせてあげたいという保護者、地域の方、学校関係者の思いが集まって、さまざまな取組みにつながっていた。
- ・餅つき大会に関しては30年以上も続いているということで、地域の方も学校も自然な流れで実施されている。

参加者の声

(子どもたちの声)

- ・大きい芋をたくさん掘れた、楽しかった。
- ・先生と二人でようやくとれた大きな芋だった。うれしかった。
- ・焼き芋おいしかった。ぼくは4年生なので、あと2年間よろしくお願いします。

(地区福祉委員の声)

毎回楽しみ。畑づくり、苗植え、ひまわりフェスタ、芋掘り体験、餅つき体験と年5回くらいは学校に来ている。もう10年ほど関わってきているが、毎年変わらなく続けていることが素晴らしいと思う。また来年も来たい。

(公民館職員の声)

子どもたちが楽しそうに掘ってくれるので嬉しい。毎回工夫してできるだけたくさんとれるように、肥料の配合なども考えている。今年は天候が悪かったのでどうかなと心配していた。(公民館職員)

(学校長の声)

子どもたちに多くの体験をさせたいが、職員だけでは人数が足りない中、毎年芋掘りと、餅つき大会、イチゴ狩り等、たくさんの方々が準備段階から関わってくださっている。本当にありがたいと思っている。

訪問日時

平成24年11月8日(木曜日)

このページの作成所属

[教育庁](#) [市町村教育室](#) [地域教育振興課](#) [地域連携グループ](#)



[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [おおさか元気広場](#) > 「教育コミュニティづくり推進事業」訪問記録 府立茨木支援学校

[お問合せ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府
(法人番号
4000020270008)

本庁 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目

(代表電話) 06-6941-0351

咲洲庁舎 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16

(代表電話) 06-6941-0351

[大阪府庁への行き方](#)